

当館における新型コロナウイルス感染者の発生について

1 概要

3月11日（金）、国立国会図書館の外部委託業者の作業員1名（東京本館（千代田区永田町）勤務）が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

なお、当該作業員には症状はありませんが、自宅療養中です。

2 作業員の従事状況等

当該作業員は、国立国会図書館東京本館内に常駐して、利用者サービス業務に従事しています。同作業員の最終出勤日は3月8日（火）です。

同作業員を含め利用者サービス部門の作業員は、普段からマスクを着用した上で業務に従事しているため、濃厚接触にあたる接触はございません。現時点で、周囲の作業員等に発熱等の症状はございません。

なお、国立国会図書館東京本館では、平素からカウンターや閲覧席等の消毒作業を行っております。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、的確に対応してまいります。

●本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）